

(仮称) 新館清掃施設整備及び運営事業

審 査 講 評

平成 30 年 10 月

(仮称) 新館清掃施設整備及び運営事業

評価会議



八王子市内の可燃ごみの処理は、現在、北野清掃工場、戸吹クリーンセンターの市内2清掃施設と多摩清掃工場（共同処理施設）の3施設で行っている。

しかし、北野清掃工場は、竣工から23年が経過し、施設の老朽化が著しく処理能力が低下しているため、ごみの適正な処理を継続して行くために新たな一般廃棄物処理施設（焼却施設）を建設することが必要となった。

そこで、八王子市では北野清掃工場に替わる新たな処理施設として、現在休止中の旧館清掃工場を解体して新館清掃施設の整備を進めることとなり、施設の整備と運営を経済的・効率的に実施するため、建設工事と運営管理業務を民間事業者に一括して長期的かつ包括的に発注するDBO方式により実施する方針が定められた。また、民間事業者の選定については、総合評価一般競争入札を採用することが決定された。

八王子市は、落札者を総合評価一般競争入札により選定するにあたり、地方自治法施行令第167条の10の2第4項及び第5項に基づいて「(仮称)新館清掃施設整備及び運営事業評価会議」を開催し、本事業の実施に際して必要となる事項の検討及び提案評価に係る意見聴取を行い、市が評価会議の意見を踏まえ落札者を選定するものとした。

評価会議では、平成29年9月に第1回を開催して以降、計6回の評価会議を開催し、事業者の選定に関し必要な審査等を進めてきた。

この度、この審査に基づいて優秀提案者を選定したので、評価会議におけるこれまでの審査の過程とあわせて報告する。

平成30年10月

(仮称)新館清掃施設整備及び運営事業評価会議  
座長 荒井 喜久雄

## 《目 次》

I 評価会議 .....	3
II 審査方法.....	3
III 評価会議開催状況 .....	4
IV 審査結果の概要 .....	5
1 応募者.....	5
2 入札参加資格審査.....	5
3 基礎審査.....	6
4 非価格要素審査.....	6
5 価格審査.....	10
6 総合評価点の算出及び優秀提案者の選定.....	11
V 総評 .....	12

## I 評価会議

八王子市（以下、「市」という。）は、（仮称）新館清掃施設整備及び運営事業（以下、「本事業」という。）をDBO方式（公設民営方式）により実施するに当たり、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）の趣旨を踏まえ、本事業を行う民間事業者の選定を公平かつ適正に実施するため、（仮称）新館清掃施設整備及び運営事業評価会議（以下、「評価会議」という。）を設置した。評価会議を構成する参加者は学識経験者等から選出された次の7名である。

### （仮称）新館清掃施設整備及び運営事業評価会議

参加者名		所属
座長	荒井 喜久雄	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術指導部長
副座長	宮脇 健太郎	明星大学 教授
参加者	千葉 茂	学校法人片柳学園 理事長
参加者	宇田川 聡	行財政改革部長
参加者	佐久間 寛	環境部長（～平成30年3月31日）
	佐藤 宏	環境部長（平成30年4月1日～）
参加者	原田 親一	資源循環部長
参加者	守屋 和洋	都市計画部長

## II 審査方法

審査方法の詳細については、落札者決定基準書に示すとおりであるが、本事業では入札参加資格審査を実施した後、基礎審査として次の2項目を確認した。

- ・ 提出書類の整合確認（提出書類について整合が図られていることを確認）
- ・ 事業提案書の要求水準確認（事業提案の内容が要求水準を満たしていることを確認）

その後、要求水準を達成するための具体的方法論及び要求水準を越える具体的提案内容を評価し得点化する非価格要素審査、及び入札価格を得点化する価格審査を実施し、総合評価方式により優秀提案者を選定した。このうち非価格要素審査の実施にあたっては、事前に応募者との対話方式によるヒアリングを開催し、事業提案書の内容についての理解を深めた。

なお、審査にあたっては、応募者記号のみが記載された審査資料に基づき審査し、応募者の匿名性を確保した。

### Ⅲ 評価会議開催状況

評価会議の開催状況、審査結果の公表状況等は、表－1に示すとおりである。

表－1 評価会議の開催状況、審査結果の公表状況等

日 程	内 容
平成 29 年 9 月 14 日 (木)	第 1 回評価会議 (要求水準書 (案) 等の審議)
平成 29 年 11 月 6 日 (月)	第 2 回評価会議 (事業方式、実施方針 (案) 等の審議)
平成 29 年 12 月 27 日 (水)	実施方針等の公表
平成 30 年 1 月 15 日 (月)	第 3 回評価会議 (入札説明書 (案)、落札者決定基準書 (案) 等の審議)
平成 30 年 2 月 20 日 (火)	第 4 回評価会議 (要求水準書 (案)、落札者決定基準書 (案)、契約書類等の審議)
平成 30 年 4 月 2 日 (月)	入札公告、入札説明書等の公表
平成 30 年 5 月 7 日 (月)	資格審査申請書に関する提出書類の受付期限
平成 30 年 5 月 14 日 (月)	入札参加資格審査結果の通知・応募者記号の交付
平成 30 年 5 月 21 日 (月)	現地見学会の開催
平成 30 年 6 月 6 日 (水)	予定価格の公表
平成 30 年 6 月 8 日 (金)	概要説明会の実施
平成 30 年 7 月 27 日 (金)	事業提案書類等入札書類の受付期限
平成 30 年 8 月 6 日 (月)	第 5 回評価会議 (事業提案審査の進め方及びヒアリングについての確認、評価方法の確認)
平成 30 年 8 月 21 日 (火)	開札
平成 30 年 8 月 24 日 (金)	第 6 回評価会議 (応募者ヒアリング、非価格要素審査、価格審査、総合評価)
	落札予定者決定

## IV 審査結果の概要

### 1 応募者

対象となる応募者は表-2に示すとおり、1グループであった。

表-2 応募者一覧

構成	応募者記号
	みどりグループ
代表企業	株式会社神鋼環境ソリューション
協力企業	大豊建設株式会社 東京建築支店

### 2 入札参加資格審査

入札説明書で示した入札参加資格を応募者が満たしていることを表-3に示すとおり確認した。なお、入札参加資格審査は市事務局において実施した。

表-3 入札参加資格審査結果

項目	応募者記号
	みどりグループ
(1) 応募者の構成等	合格
(2) 応募者等の参加資格要件	合格
1) 共通の参加資格要件	合格
2) 各業務を行う者の要件	合格
(ア) 建築物の設計を行う者の要件	合格
(イ) 建築物の建設を行う者の要件	合格
(ウ) プラント設備の設計・建設を行う者の要件	合格
(エ) 運営・維持管理業務を行う者の要件	合格

### 3 基礎審査

応募者から提出された事業提案書類に記載された内容が、落札者決定基準書に示す基礎審査項目を満たしていることを審査した。その結果、表－4に示すとおり当該要件を満たしていることを確認した。

表－4 基礎審査結果

項 目	応募者記号
	みどりグループ
提出書類の整合確認（様式 5-1） ・様式 5-1「提出書類の整合確認書」等により提出書類について必要な書類がそろっていること及び書類間の整合が図られていることを確認	合格
事業提案書の要求水準確認（様式 5-3～5-11） ・様式 5-3「設計基本数値計算書等」～様式 5-11「運転計画等」により、事業提案内容が要求水準を満たしていることを確認	合格

### 4 非価格要素審査

#### (1) 審査結果一覧

非価格要素審査は要求水準を満たすことはもとより、応募者が提案する内容が一般廃棄物処理業務の一環として適切かつ柔軟な対応が図られているかといった観点から、要求水準を達成するための具体的方法及び要求水準を越える具体的提案内容を審査し得点化した。具体的には、応募者から提出された非価格要素審査に関する提出書類をもとに「落札者決定基準書」に示す 22 の各項目について表－5に示す採点基準にしたがって各参加者が A～E の 5 段階評価を行い、その平均をとって応募者の提案内容を得点化した（配点 50 点）。

非価格要素審査結果は表－6に示すとおりである。

表－5 審査項目の採点基準及び得点化方法

評価	採点基準	得点化方法
A	特に優れている	(配点× 1 )
B	AからCの間	(配点×0.75)
C	優れている	(配点× 0.5)
D	CからEの間	(配点×0.25)
E	要求水準を満たす程度	(配点× 0 )



表－6 非価格要素審査結果一覧

審査項目		配点	みどり グループ
1. 基本方針		2	1.50
	基本方針	2	1.50
2. 設計・建設業務		23	16.01
(1) 施工中の対応	1) 工程、環境保全	2	1.17
	2) 移設及び解体撤去工事	2	1.42
(2) 安全・安定・利便性	1) 全体配置計画	3	2.38
	2) 機器配置計画	2	1.17
(3) 環境負荷低減・エネルギー利用	1) 公害防止対策	2	1.33
	2) 発電効率	2	1.83
	3) 最終処分量低減	2	1.25
(4) 周辺環境への配慮	景観、緑化計画	3	1.88
(5) 環境教育	学習機能	3	2.00
(6) 災害時・非常時対策	災害時・非常時対策	2	1.58
3. 運営・維持管理業務		15	10.88
(1) 運営・維持管理	1) 受付管理	2	1.67
	2) 運転計画	2	1.50
	3) 維持管理計画	3	2.13
	4) 情報管理、事業引継ぎ	2	1.25
(2) 環境負荷低減・エネルギー利用	1) 公害防止対策	2	1.33
	2) 発電効率	2	1.50
(3) 災害時・非常時対策	災害時・非常時対策	2	1.50
4. 事業計画		10	6.67
(1) 経済性	事業収支計画	2	1.33
(2) リスク管理	1) 事業運営計画	2	1.42
	2) リスク管理	2	1.25
(3) 地元貢献	地域活性化	4	2.67
非価格要素審査点		50	35.06

注) 得点は小数点第3位を四捨五入して、小数点2位まで算出

## (2) 非価格要素審査の講評

非価格要素審査の講評は表－7に示すとおりである。

表－7 非価格要素審査の講評

審査項目		講評
1. 基本方針		
	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5つの施設整備方針を十分に理解した上で施設の整備・運営に係る基本的な方針についての提案がなされている点を評価した。</li> </ul>
2. 設計・建設業務		
(1) 施工中の対応	1) 工程、環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備の工程内容が、事業スケジュールと整合した所定の工期内に工事が完了する提案がなされていた。</li> <li>・周辺の振動、騒音、粉じん、濁水等の抑制、防止対策について考慮した提案がなされていた。</li> </ul>
	2) 移設及び解体撤去工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の付帯施設の運用を考慮し、段階ごとの移設手順について分かり易い提案がなされていた点を高く評価した。</li> </ul>
(2) 安全・安定・利便性	1) 全体配置計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設の配置について合理的かつ効率的な提案がなされている点を高く評価した。</li> <li>・多様な搬出入車両への対応、渋滞時の対策について具体的提案がなされていた点を評価した。</li> </ul>
	2) 機器配置計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型機器の搬出入に配慮した上で機器のメンテナンス、補修及び更新等を考慮した配置、動線の提案がなされていた。</li> </ul>
(3) 環境負荷低減・エネルギー利用	1) 公害防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各公害防止基準を十分に満足するための具体的提案がなされている点を評価した。</li> </ul>
	2) 発電効率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発電効率、計画ごみ質時における発電量の最大化に向けた具体的かつ有効な提案がなされている点を非常に高く評価した。</li> <li>・ごみ量、ごみ質の変動に対しても安定した発電効率を図れる提案がなされていた点を高く評価した。</li> <li>・使用電力の低減を考慮し、年間売電の最大化や年間買電の最小化を図れる提案がなされていた点を評価した。</li> </ul>
	3) 最終処分量低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終処分量の低減に努めた提案がなされており、使用薬剤の適正化に努めた提案もなされていた。</li> </ul>
(4) 周辺環境への配慮	景観、緑化計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圧迫感の低減等、周辺環境への配慮に対して工夫された提案がなされていた。</li> <li>・既存の緑地や調整池を活用した散策路等の整備、傾斜地の活用等を考慮した提案がなされていた。</li> </ul>
(5) 環境教育	学習機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全性を確保し、体験・体感型の見学者空間とすることで、ごみの発生から処理に至るまでの一連の流れを自発的に学べる独創的かつ先駆的提案がなされていた点を高く評価した。</li> <li>・その他環境学習について、特徴のある提案がなされていた。</li> </ul>
(6) 災害時・非常時対策	災害時・非常時対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の被災事例に基づく地震、停電等の災害時・非常時の安全性や迅速な復旧が可能な提案がなされていた点を高く評価した。</li> <li>・災害時においても継続的な安定稼働が実現可能な提案がなされていた点を評価した。</li> <li>・災害時における施設活用や敷地活用等を考慮した提案がなされていた点を評価した。</li> </ul>

審査項目		講評
3. 運営・維持管理業務		
(1) 運営・維持管理	1) 受付管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般搬入者への受付、ごみの荷降ろし、支払いまで、わかりやすい手続き、動線、誘導等に配慮し、収集車両を含めた渋滞緩和や安全性の確保について考慮した提案がなされていた点を高く評価した。</li> <li>・処理不適物の混入防止対策や搬入物検査について具体性がある提案がなされていた点を評価した。</li> </ul>
	2) 運転計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時的及び将来的なごみ量の変動にも対応した安全性・経済性・効率性に配慮した運転計画の提案がなされていた点を高く評価した。</li> <li>・施設を安全、安定的に稼働できる人員配置及び教育計画について具体的な提案がなされていた点を評価した。</li> </ul>
	3) 維持管理計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本性能を維持しつつ、長期的に安定した稼働が可能な計画的、効率的な計画の提案がなされていた点を高く評価した。</li> <li>・事業期間終了後も踏まえた施設の長期使用を考慮した施設長寿命化計画について、維持管理面に配慮した具体的提案がなされていた点を評価した。</li> <li>・トラブルに対する事前、事後対策に具体性、妥当性がある提案がなされていた。</li> </ul>
	4) 情報管理、事業引継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営職員間及び市と運営事業者間での情報伝達が迅速かつ円滑に行える計画の提案がなされていた。</li> <li>・業務終了後、次の運営事業者への引継ぎが円滑かつ確実に行える計画の提案がなされていた点を評価した。</li> </ul>
(2) 環境負荷低減・エネルギー利用	1) 公害防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排ガス、排水、焼却灰及び飛灰、騒音・振動、悪臭等の各公害防止基準を確実に遵守する管理体制であり、監視方法、基準超過予防対策について具体性、妥当性がある提案がなされていた点を評価した。</li> </ul>
	2) 発電効率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ量、ごみ質の変動に対しても安定した発電が可能な運転計画の提案がなされていた点を高く評価した。</li> <li>・所内消費電力の低減等、年間売電の最大化や年間買電の最小化が図れる経済的な運転計画の提案がなされていた。</li> </ul>
(3) 災害時・非常時対策	災害時・非常時対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震、停電等の災害時・非常時の安全性、迅速な復旧体制等について、過去の被災事例に基づく提案がなされていた点を高く評価した。</li> <li>・過去の被災事例に基づき、災害時の支援を考慮した具体的提案がなされていた。</li> </ul>
4. 事業計画		
(1) 経済性	事業収支計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期の事業継続を考慮し、不測の事態も想定した上で計画性、妥当性のある事業収支計画の提案がなされていた点を評価した。</li> </ul>
(2) リスク管理	1) 事業運営計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20年以上にわたり安定して事業継続が可能となる、人材、技術、交換機器の確保等について計画性、妥当性がある提案がなされていた点を評価した。</li> <li>・事業運営計画の継続的な健全性を確認するために必要な提案がなされていた。</li> </ul>
	2) リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク管理と対策について計画性、妥当性がある提案がなされており、保険内容も充実した提案がなされていた。</li> </ul>
(3) 地元貢献	地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事及び運営・維持管理期間における具体的な地元発注額の提案がなされていた。</li> <li>・高い地元雇用率を目標とするなど、地域社会への貢献について考慮した提案がなされていた点を高く評価した。</li> </ul>

## 5 価格審査

市では、応募者立ち合いのもと入札書を開札し、入札価格が予定価格と失格基準価格の範囲内であることを確認し、入札説明書及び落札者決定基準書に基づき、入札価格について得点化を行った。(配点 50 点) 価格審査結果は表－8 に示すとおりである。

なお、予定価格、調査基準価格、失格基準価格は表－9 に示すとおりであり、「予定価格」と「調査基準価格及び失格基準価格の算出方法」は事前公表、「調査基準価格」及び「失格基準価格」は事後公表するものとした。

表－8 価格審査結果一覧

項目	応募者記号
	みどりグループ
入札価格	25,890,000,000円
内訳：工事契約	15,659,000,000円
内訳：業務委託契約	10,231,000,000円
価格点（合計）	6.119点
内訳：工事契約	0.000点
内訳：業務委託契約	6.119点

注) 工事契約の価格審査点=333点×(1-入札価格/予定価格)×59/100  
 業務委託契約の価格審査点=250点×(1-入札価格/予定価格)×41/100  
 得点は小数点第4位を四捨五入して、小数点3位まで算出  
 入札価格は消費税及び地方消費税を含まない

表－9 予定価格・調査基準価格・失格基準価格

項目	金額（円）
予定価格	26,539,490,741
内訳：工事契約	15,659,000,000
内訳：業務委託契約	10,880,490,741
調査基準価格	
内訳：工事契約	13,310,000,000
内訳：業務委託契約	8,704,000,000
失格基準価格	
内訳：工事契約	12,824,000,000
内訳：業務委託契約	8,160,000,000

注) 消費税及び地方消費税を含まない

## 6 総合評価点の算出及び優秀提案者の選定

「落札者決定基準書」に従って表-10 に示すとおり応募者の総合評価点を求め、応募者記号：みどりグループ（代表企業：株式会社神鋼環境ソリューション）を優秀提案者として選定した。

表-10 総合評価点の算出結果

項目	応募者記号
	みどりグループ
非価格要素点（配点 50点）	35.06点
価格点（配点 50点）	6.119点
総合評価点（配点100点）	41.179点

注) 総合評価点 = 非価格要素点 + 価格点

## V 総評

本事業への応募者は結果的に株式会社神鋼環境ソリューションを代表企業とする「みどりグループ」の1グループであったが、当該応募者の提案は、本事業の背景や特徴、八王子市の地域性を十分に理解した上で、自らが有するノウハウと創意工夫を盛り込み、要求水準書が要求する機能・性能等を高水準で上回る提案であった。

評価会議では、落札者決定基準書に基づき技術面及び価格面から総合的に評価した結果、「みどりグループ」を優秀提案者として選定するに至った。

今後、八王子市と「みどりグループ」が良好なパートナーシップを構築し、公共事業の一環として事業目的及び施設整備方針を実現するとともに、安全・安心で継続的な処理を行い、循環型社会形成を構築する先進的な施設となることを期待する。

そのため、公共サービスの更なる向上に向けて「みどりグループ」に対しては、次の点に留意することを望むものである。

あわせて、評価会議からは、本事業実施にあたって八王子市がこれらを配慮事項として事業に反映させることを望み、「みどりグループ」に明確に伝えるとともに、双方が誠実な協議を重ねることにより、本事業をよりよいものとしていくことを要請する。

- ◎ 要求水準事項及び提案事項を確実に履行するとともに、特に環境面において近隣住民に対し十分な配慮を心がけること。
- ◎ 迷惑施設としての清掃工場というイメージの払拭を図り、維持管理を含めたコスト意識を持った上で、環境に対する意識を高めるための工夫を講じること。
- ◎ 地域に信頼され開かれた施設となるよう更なる工夫を図るとともに、地域経済の発展に可能なかぎり配慮すること。
- ◎ 構成企業同士が有機的に連携し、円滑な事業遂行に努め、安全性の確保及び工期の遵守に努める円滑な事業遂行に努めること。
- ◎ 経済性、効率性に配慮した施設整備・運営を実施し、地元雇用を含め適切な人材活用と十分な人材育成を行うこと。
- ◎ その他、上記に限らず、市と事業者はより良いパートナーとして信頼関係を構築の上、事業に対して誠実に協議に応じるとともに真摯な対応に努めること。

最後に、みどりグループにおかれては、事業期間を通じて誠意をもって各業務を行い、市との良好な関係、また地域との信頼関係を築きながら、安全・安心な事業運営を行うことに注力し、本事業を計画的かつ円滑に推進することを期待する。